BRIDGESTONE
Solutions for your journey

久留米工場

世界に羽ばたく
ブリヂストンのマザープラント

操業開始　1931年3月（国内タイヤ工場で最初に操業開始）

敷地面積　430,000m^2

生産品目　乗用車用、小型トラック用、航空機用、レーシング用、産業車両用タイヤ



①第1工場　②第2工場　③第3工場　④バンバリー工場　⑤モールド工場
⑥コード工場　⑦本事務所

発祥の地・久留米

久留米市生まれの創業者･石橋正二郎は、久留米工場で第1号タイヤを産み出しました。その後、ブリヂストンの国内で最初のタイヤ工場として、タイヤの国産化を使命に1931年3月、操業を開始しました。
筑後川に沿って建てられた久留米工場は、ブリヂストンの歴史そのものであり、現在でもブリヂストングループを支える生産拠点に位置付けられています。

幅広い生産品種と確かな技術力

久留米工場は、当社のマザープラントとして、小型トラック用タイヤをはじめ、トラコンバ（乗用車用スペアタイヤ）、航空機用、レーシング用等の各種タイヤを幅広く生産しています。また、タイヤの骨格となるナイロンやポリエステルなどのタイヤコード工場も備えており、国内外工場へ供給しています。
この多品種生産は、創業以来培われてきた技術力を抜きに語ることはできません。海外工場などから多くのスタッフが久留米工場へ研修に来るなど、久留米工場の技術や品質管理はブリヂストンの製品を支えています。



航空機用タイヤ



小型トラック用タイヤ
DURAVIS R205

ブリヂストン吹奏楽団久留米

従業員で編成される「ブリヂストン吹奏楽団久留米」は、1955年の結成以来全国各地での定期演奏会やチャリティーコンサートを行っています。毎年開催される全日本吹奏楽コンクールでは、これまで35回金賞を受賞している実力派です。
また、日頃の活動が認められ、「久留米市芸術奨励賞」「久留米市文化章」「地域文化功労者文部科学大臣表彰」なども受賞しています。



ブリヂストン吹奏楽団久留米

環境に配慮した工場を目指して

eco-Activities

久留米工場は、大自然（九州一の大河「筑後川」河畔）の中に立地している工場という自覚を持ち自然を大切にしています。ブリヂストンは“未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくために…”を環境の基本姿勢としており、久留米工場では明日の豊かで健康的な生活の実現に向けた取り組みを推進しています。
“環境にやさしい工場づくり”に向け、LED照明、ソーラーパネル、氷蓄熱空調設備の導入や使用済みタイヤを再利用した舗装の整備を実施しています。



工場正面のソーラーパネル

地域社会の一員として

創業者・石橋正二郎は会社の発展だけでなく、石橋美術館を含む「石橋文化センター」や市内の小中学校へのプールの寄贈など、地域の発展との調和を大切に考えていました。
久留米工場ではその想いを継いで、「くるめ水の祭典」を始めとする諸行事への積極的な参加、久留米市内の小学校へ桜の寄贈・植樹や筑後川花火大会後の清掃活動、地域住民への開かれた工場見学など地域社会に溶け込んだ工場運営に取り組んでいます。



くるめ水の祭典



筑後川花火大会後の清掃活動

タイヤは車の安全を支える大切なもの

私にもできる、ドライブ前のチェックポイント

Tire Safety

空気圧点検

ご存知でしたか、タイヤの空気圧は自然に低下します（1ヶ月で約10～20kPa）。走る前に冷えている状態で定期的（月1回）に点検してください。適正空気圧は車種によって異なります。運転席側のドア附近に貼付された、空気圧表示シールで確認してください。

エアゲージをお持ちでない方は・・・ Tire Safety マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽にお立ち寄りください。



タイヤが冷えているのを確認してから

走行直後はタイヤ、ホイールが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。



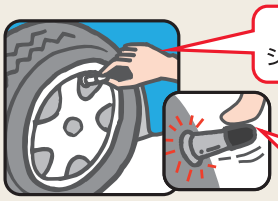
エアゲージ

ホイールにあるバルブの口にセットして空気圧の過不足を測ります。



石鹸水

石鹸水をつかって、バルブからの空気の漏れがないか確認します。



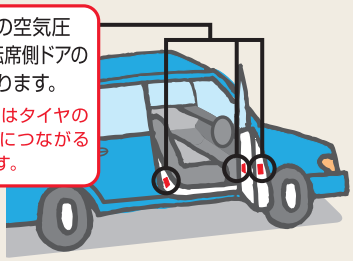
バルブキャップはシッカリと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか空気もれがないかチェック！

バルブキャップ

点検後は、バルブのキャップを忘れがちです。しっかり締め直しましょう。

●空気圧不足の時は、お近くのタイヤショップかガソリンスタンドなどで充填してください。



メーカー指定の空気圧表示シールは運転席側ドアのこの辺りにあります。

空気圧の過不足はタイヤの性能低下や事故につながるおそれがあります。



スペアタイヤの点検も忘れずに！

チッ素ガスのお薦め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。
チッ素は空気に比べこの“自然低下”を抑えることができます。

チッ素ガス充填のメリット

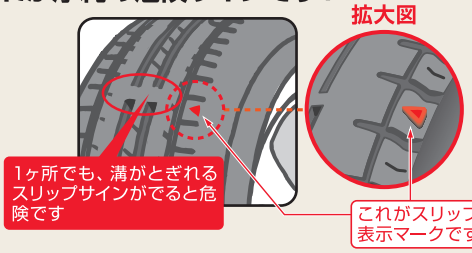
❶空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。

❷内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。



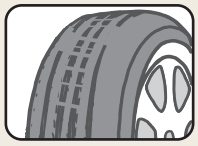
タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです！



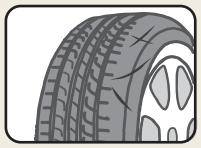
残り溝が1.6ミリになる目安としてスリップサインを設けています。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用することを法律で規制されています。

タイヤチェック、3つのポイント



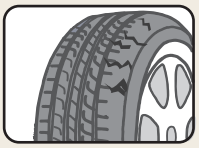
❶ミゾ

すり減ったタイヤの雨の日は、制動距離が伸びて危険。ハイドロプレーニング現象も起こります。



❷キズ

小さなキズが大きなバーストを起こす可能性があります。



❸ヒビ

古く劣化してヒビ割れができていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度それぞれ燃費が悪化します。※1

燃費悪化率2%（市街地）、月に1,000km走るとして燃費＝10km/ℓ、ガソリン代＝146円/ℓ※2で

なんと ガソリン代 約3,500円/年の損失※3

更に CO₂排出量も増加します。

出典 / ※1：（社）日本自動車工業会
※2：石油情報センター2007年8月平均レギュラーガソリン単価
※3：(社)日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算



久留米工場／JR鹿児島本線 久留米駅下車 徒歩3分
九州自動車道 久留米ICより約15分

当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。
http://www.bridgestone.co.jp

株式会社ブリヂストン

久留米工場
福岡県久留米市京町105 〒830-0028
電話（0942）33-0112

VEGETABLE OIL INK

2020.12